



2021 年度
第 22 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
“労働者”
崔スクヒョン
を記憶する



2
崔スクヒョン選手
1 周忌を迎えて



3
文体部、
故崔スクヒョン選手
1 周忌迎え
人権保護のチェック



4
スポーツ人権研
故崔スクヒョン同僚
提訴は明らかな
被害者いじめ”

5
国全体の騒ぎ
だったが... 双子、
こっそり復帰すれば
終わりか？

6
興国生命、
双子登録予定...
議論の再点火予告

7
東京オリンピック、
競技より選手の
安全が最初に来る



01 ハンギョレ 2021.06.24

[李ジュニのこちら VAR] “労働者” 崔スクヒョンを記憶する



去る4月に重要な決定が一つ出てきた。勤労福祉公団が故崔スクヒョンの死が業務上疾病による死亡と認めたのだ。スポーツ界の集団いじめが労災として認められた最初の事例だ。勤労福祉公団はいじめなど、チーム内の過酷な労働条件と給与契約という職業的不安定性などが業務上のストレスにつながったと判断した。

今回の決定はスポーツ選手の労働者性に着目したという点で意味が大きい。実業チームの選手たちは4大保険の適用を受ける期間制労働者だ。しかし、選手たちでさえ自分を労働者として認識する場合がまれなのが現実である。

スポーツ人権研究所が崔スクヒョン1周年を迎え、19日に「その人達の罪を明らかにして欲しい - その後一年」というテーマで開催された第2回スポーツ人権フォーラムでは、スポーツ暴力根絶のためのさまざまな議論が交わされた。その中で記憶に残るのが「スポーツ界の特殊性を強調してはならない」という指摘と「なぜ選手たちが問題提起をしにくい環境に置かれているかどうかを考えなければならない」という提言であった。

スポーツ選手の労働者性に着目することは問題解決の糸口になります。事実、資本主義社会で企業が利益のために労働者を搾取することとスポーツ界が選手を絞って成績を出そうとすることは、その成績がすぐに利益につながるという点で本質的に同じである。スポーツ選手はこれまで社会的に労働者として認められなかっただけだ。国威宣揚のような国のイデオロギーが他の労働現場に比べてまだ強く作用するという点もスポーツ選手の労働者性を隠蔽するために貢献してきた。

選手ではなく労働者という観点で問題を見ると多くのことが変わってくる。まず、スポーツの特殊性を主張するのは難しい。企業が利潤のために労働者を頻繁に暴行し、強制的に合宿をさせるということは、今、私たちの社会では想像するのは難しいことだ。しかし、スポーツ界ではそのようなことが頻繁に起こり、今も堂々で行われている。たとえば合宿問題はスポーツ界の暴力事件が勃発するたびに指摘された悪習であっても、「成績を出すためにはどうしようもない」という論理がまだ横行している。

選手当事者の主体化にも労働者というアイデンティティが解決策になりうる。これまでのような世代の異なる労働者は、MZ世代と呼ばれ、「ウォーラベル（訳注：ワークライフバランスの略）」を叫ぶ間にも、スポーツ選手たちは特殊な労働条件を甘受して耐えなければならなかった。労働者のアイデンティティが弱いため問題提起が大変で、選手たちは一人一人バラバラにされ散発的な暴露に依存する必要があった。しかし、労働組合という枠を利用すれば労働者性の教育はもちろんのこと、日常的な問題提起も可能である。安定した連帯の空間も用意される。労働者は団結してこそ声を出すことができるという原理は、スポーツといえど例外ではないからだ。

昨年、プロ野球新人王をとって彗星のように登場したKTウィズの先発投手ソ・ヒョンジュン（20）はハンギョレのインタビューで、スマートバンキングで少しずつ積立金をしているという。まちがいない社会人一年生の姿だ。取材して会った他の選手たちも競技場で見せる姿とは異なり、実際には普通の会社員に近かった。崔スクヒョンと違う点がなかっただろう。

来る26日は崔スクヒョン1周忌である。今回の忌日にはスポーツ暴力と関係機関の無視の中で死んでいった崔スクヒョンと、過酷な労働環境に苦しめられた「労働者」崔スクヒョンを追悼したらどうだろうか。

出典：https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/1000677.html

02 【カン・シヌク スポーツフォーラム実践常任代表寄稿】 2021.06.26 崔スクヒョン選手1周忌を迎えて



故崔スクヒョン選手が暴力に勝てず、この世を捨ててからもう1年が過ぎた。社会的公憤がどれほどだったか、今でも胸にじんときくる。指導者達や同僚の殴打行為もそうだったが崔スクヒョン選手が自分の境遇をあのように切実に訴えたにもかかわらず、いわゆる保護システムが徹底的に崩れたことについて国民は極度の怒りを示した。その後スポーツ界人権改善のための国民体育振興法改正と文体部スポーツ倫理センター設立、そしてスポーツ界内部の自浄努力が加速された。スポーツ界の人権改善の大きな契機が用意されたのだった。しかし、故崔スクヒョン選手の痛みをきっかけ

にして、スポーツ界人権が期待ほど改善されただろうか？

今年春には李ジェヨン、李ダヨン姉妹に象徴されるスポーツ界学暴問題が世間を騒がせた。学生時代に発生した過去の同僚間暴力問題が改めてスポーツ界を混乱に陥れた。悔しい事例もあったが、ほとんどは加害者の烙印を押され、これまで身を置いてきたコートを去っていった。単に離れた選手や指導者たちだけがそうだったのだろうかというため息と物足りなさがスポーツ界の内部で提起された。

非常に古い話であろうが、わずか1年前のことであろうが、暴力による選手たちの苦痛と痛みは決して終わらず今も暗い片隅で継続されている。身体暴力が少し減ったかも知れないが、言葉の暴力は依然として深刻に残っていると思う。遠くに行ってもいない。競技場に行ってみれば顔が熱くなる。恨み、脅迫、軽蔑、拒否、敵対の形態で加わる言語暴力は、身体の暴力に劣らず選手個人の自尊心に大きな傷を残す。故崔スクヒョン選手や学暴被害者が血を吐いて告白する内容の大部分は、まさに言葉の暴力である。

スポーツ人権センターも倫理センターも身体暴力や言語暴力がすぐに、あるいは時間経過後にほとんど申告されていると信じている人がいるとしたら故崔スクヒョン選手に対する裏切りである。スポーツ界を知らないか、知ろうしていない人々である。大きな事故だけ起きないことを望む人々である。だから私は機会あるごとにすべての選手を対象にモバイルなどを利用した暴力の被害実態調査を当分の間、1年に1～2回定期的実施しなければならないと訴えてきた。

一部の指導者には邪魔になるかも知れないが、選手暴力を予防し健全な大半の指導者を保護する非常に現実的な方法だからだ。調査機関や研究者によって多少の差はあるが、過去1年間に暴力を経験した選手の割合は、過去10年以上一貫して20%前後である。逆に言えば80%前後の指導者たちは、それこそ勝利の圧迫感と1年契約職、途方もなく低い給料にもかかわらず、選手たちに献身している。

選手に対する身体、言葉の暴力をこの地から根絶しなければならない。そして善良な大半の指導者を保護しなければならない。スポーツ界が国民から再び愛され尊敬されるようにスポーツ界自らが大きく変わらなければならない。それが故崔スクヒョン選手が私たちに残した絶叫であり課題だ。もう一度故崔スクヒョン選手の冥福を祈る。

出典：<http://www.sportsseoul.com/news/read/1049400?ref=naver>

03 聯合ニュース 2021.06.25

文体部、故崔スクヒョン選手 1 周忌迎えスポーツ人権保護のチェック



ファン・ヒ文化体育観光部長官は 25 日、故崔スクヒョン選手 1 周忌（6 月 26 日）を迎え、教育部と大韓体育会、大韓障害者体育会、スポーツ倫理センターなどの体育関連機関・団体の関係者と一緒にスポーツ人権保護の推進状況を点検した。

文体部は「ファン・ヒ長官は教育部のハム・ヨンギ教育課程政策官、大韓体育会の趙ヨンマン事務総長、大韓障害者体育会のジョン・ジンワン会長、スポーツ倫理センターの李ウンジョン理事長、ユ・スンミン大韓卓球協会会長兼国際オリンピック委員会（IOC）選手委員などと 1 年前と変わったスポーツ人権保護システムの現状を見つめ、今後の改善策を議論した」と伝えた。

ファン・ヒ長官は会議前に故崔スクヒョン選手を追慕しながら「私は再び人権侵害によって夢をくじかれる選手が出ないようにしたい」とし「スポーツ界は自ら変化の先頭に立ち、スポーツ選手は社会に良い影響を与える存在になってほしい」と注文した。

文体部は昨年、故崔スクヒョン選手の残念な事態で世論が沸き立ち、様々な選手人権保護策を出した。

文体部は「過去 1 年間、職場運動競技部の合宿所運営原則規定と標準契約書を作成するなど、さまざまな努力を傾けた」とし「今後、スポーツ倫理センターの調査担当者を 27 人まで増やすなど、積極的な対応で人権侵害事例の死角地帯が消えるように誘導する」と明らかにした。

一方文体部は、スポーツ選手の学校暴力に関する制裁も大きく強化した。

文体部は「学校暴力の加害者は国家代表、実業チームおよびプロスポーツ選手になりにくいよう選抜の過程で確認し、学校暴力が明らかになって社会的物議を起こした場合、制裁することができる根拠を用意した」と明らかにした。

また、「そのために大韓体育会などの関係団体で今年 8 月までに関連規定を改正し、文体部は 7 月までに実業チームの標準運営規定を設ける計画だ」と伝えた。

学校暴力加害者は軽重に応じて一定期間大会参加が制限され、これを確認するために今年下半期から大会参加時に誓約書を提出するようにする予定だ。

また、2022 年までに連携構築予定の懲戒情報統合管理システムを介して、学校の学校暴力関連措置の内容まで統合管理できるようにする国民体育振興法、学校暴力予防法、学校体育振興法改正案が国会に発議されている。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210625040400007?input=1195m>

04 聯合ニュース 2021.06.22

スポーツ人権研“故崔スクヒョン同僚提訴は明らかな被害者いじめ”



スポーツ人権研究所が故崔スクヒョン選手の被害事実を証言した現役トリアスロン選手2人を告訴した前慶州市役所選手の金某氏に対して「公益情報提供者の沈黙を強要する行為」だと批判した。スポーツ人権研究所は22日、声明を出し「故崔スクヒョン選手が”私の敵”と名指しした金某選手（現指導者）がチーム内暴行を証言

した同僚選手たちに最近、4億ウォン台の損害賠償請求訴訟を提起した」とし、「これは情報提供者の沈黙を強要する明白な被害者いじめだと判断する」と主張した。

金某氏は、故崔スクヒョン選手が日記などを通じて「苛酷な行為をした先輩」と指摘した。

しかし崔スクヒョン選手の遺族は金某氏を告訴しなかった。

金某氏は最近、現トリアスロン選手2人に「訓練中過失で怪我をした」などの理由で4億ウォン台の損害賠償請求訴訟を提起した。

提訴された選手の2人は「崔スクヒョン選手の被害事実を知らせるために先頭に立ったことの復讐」と判断している。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210622154700007?input=1195m>

05 デイリアン 2021.06.25

興国生命、双子登録予定... 議論の再点火予告



学生時代の暴力疑惑で無期限出場停止処分を受けた李ジェヨン、李ダヨン双子姉妹の復帰が見えてくる見通しである。

金ヨイル興国生命団長は22日、韓国バレーボール連盟(KOVO)理事会で選手人権センター発足を提案し、双子姉妹を来るべき2021-22シーズン選手として登録するという言葉を伝えたことが分かった。

それとともに李ジェヨンは興国生命でそのまま残るが李ダヨンは海外で活動する方案を検討中だと付け加えた。

去る2月李ジェヨン、李ダヨン姉妹は高校時代の学暴を犯したという暴露がインターネット上で提起され、二人はすぐに謝罪文を発表した。

これに所属チームの興国生命は二人の選手に無期限出場停止の自己規律を下し、大韓バレーボール協会も代表資格を無期限に剥奪して来るべき東京オリンピック出場が消えた。

以後、二人の選手は自粛の時間を持った。この過程でトルコのスポーツエージェンシーは李ダヨンのギリシャリーグ入団のニュースを伝え、論議が再び起きた状況である。

一方、Vリーグの次のシーズンの選手登録期限は30日である。一週間も残っていない状況で、二人の選手の運命がどのように決定されるか、明らかな点は、彼女たちと球団を見つめるファンの視線が、必ずしも

きれいではないということだ。

出典：<https://www.dailian.co.kr/news/view/1004902/?sc=Never>

06 NEWS1 2021.06.24

国全体の騒ぎだったが...双子、こっそり復帰すれば終わりか？



去る2月、大韓民国スポーツ界は「学校暴力」事態で騒々しかった。女子プロバレーボール李ジェヨン・李ダヨン（25歳・興国生命）双子の姉妹が「学暴事態」の出発点であり、続いて多くの種目に広がった。余波は相当だった。国全体が揺れた。

ムン・ジェイン大統領が直接ファン・ヒ文化体育観光部長官に「暴力や体罰、虐待の問題などスポーツ人権問題が引き続き提起されてきた」とし「このような問題が根絶されるように、特段の努力を傾けてほしい」と頼んだほどだ。

しかし時間が過ぎて騒ぎは減り、議論に巻き込まれた彼らは最近になって次々と復帰している。

自由契約選手（FA）の資格を取得した男子バレーボールのソン・ミョングンはOK金融グループと再契約を結び、来月入隊する予定だ。三星火災所属だった2月、学校暴力などの理由で引退を宣言した朴サンハは現代キャピタルにユニフォームを着替えた。ここで大きな問題が非常にすぐに登場する。李ジェヨン、李ダヨンのコート復帰も事実上、確実視されている。

興国生命の関係者は最近、韓国バレーボール連盟（KOVO）理事会で双子の姉妹を選手登録すると公言した。KOVO選手登録期限は30日である。李ジェヨンはVリーグに戻り、李ダヨンの場合は海外に移籍させるという構想まで付け加えた。

いつかコートに戻ってくるだろうという予想が支配的であったが、復帰時期があまりにも速い。その過程と方法も適切ではない。何よりも球団の行動には失望する。

興国生命は学暴事態が起こった時から二人の選手に「無期限の出場停止」という軽い懲戒を科して、いつでも復帰できる余地を残していた。「無期限」が与える語感が一見重い懲戒に見えるが、角度を変えれば「いつでも」戻ってこれる仕組みだ。

ファンを欺いたという指摘も避けることができない。興国生命球団は早くに李ジェヨンのVリーグ復帰を決めておいて、知らぬ存ぜぬで押し通した。「公式に決まったものではない」とだけ繰り返した。そうして登録締め切りが近づくと「こっそり」進行している。

突如として浮上した李ダヨンのギリシャ移籍説も取材の結果、興国生命が直接推進したものだった。興国生命の関係者が国内のエージェントを介して、トルコエージェンシー杯（CAAN）に移籍などをおしたし、ギリシャの球団と契約を結んだことが確認された。

あるバレーボール関係者は「はっきりと見えるのに、なぜ嘘で隠し続けるのか不思議だ。よく理解できない」と述べた。

いつか二人の姉妹がコートに戻って来れると、多くのバレーボール人が認知していた。良い才能を持った選手の選手生命が閉ざされることを残念に眺める視点もあった。

しかし、バレーボール界を越えてスポーツ界全般が揺れる程の波を起こした張本人が、バレーボールのファンだけでなく、一般の国民も憤りを感じた彼女たちが何気なく元の位置に戻ってくるこの図は望ましくない。

球団が双子の姉妹に投資した金、次のシーズンリーグに出なければならぬ戦力だけを考えたから可能となった行動である。選手もやはり自分たちだけで考えているが、最も重要なことは後回しにされた。

李ジェヨンと李ダヨンの張本人は学暴事態が起きた後に公式の席で何の謝罪もしなかった。SNSに文字で頭を下げ、あるいは球団が代わりに謝罪した。その時SNSにあげた謝罪文が消えて久しい。

さらに4月、学暴を暴露した暴露者を訴えるという立場がマスコミを介して報道され、騒ぎになった事件もあった。暴露内容に事実と異なる部分が多く、被害が大きかったという理由であった。双子の姉妹が吟味して見て、自分たちが受けた被害だけ浮上した形である。

一体、本当に申し訳ない気持ちはあるのか、多くの疑問符が浮かんでくる。そのようにしてきた彼女たちが数ヶ月、静かになるとこっそり復帰を進めている。

今の雰囲気であれば二人のコート復帰は現実視される。多くのバレーボール関係者は非常に心配している。果たして誰が彼らの復帰を見て拍手を送るのだろうか。多くの人はそうではないというが、興国生命と双子の姉妹は「良くやるから」とだけ叫んでいる姿だ。

出典：<https://www.news1.kr/articles/?4348866>

07 中央日報 ファン・スヨン学校体育振興研究会会長 2021.06.25 [寄稿]東京オリンピック、競技より選手の安全が最初に来る

東京オリンピックが一ヶ月後に迫ってきた。しかし、東京オリンピックを正常に開催できるかはまだ不透明だ。コロナ19がまだ猛威を振るっているからである。来月23日に開幕を控え、日本はもちろん世界中で開催反対世論が沸き立っている。

日本の朝日新聞が最近実施した世論調査によると、「中止しよう」との回答が83%にもなる。5月初め一日7000人まで上昇した陽性者が最近2000人まで減ったが、累積確定者はすでに78万人を超えた。死亡者も1万4000人を超えた。

全世界のコロナ死者は387万人を突破した。第一次世界大戦時に835万人が犠牲になったという事実を考えると、3次世界大戦が起きたといっても過言ではない悲惨な状況である。このような大変な時期に1年延期された東京オリンピックをもう中止しようという主張が日本内外で世論の共感を得ることは当然の側面もある。

国際オリンピック委員会（IOC）憲章を見ると、オリンピック理念の基本原則第1項は「オリンピック理念の目標は人間の尊厳保持を追求するものであり、スポーツを通じた調和のとれた人間の発展に寄与すること」と明らかに規定している。また、東京オリンピック開催はオリンピック憲章第27条6項にも反するとの指摘を受けている。政治的な意図でオリンピックが強行されており、オリンピックの崇高な精神と理念を商業目的で汚染させているという理由である。

東京オリンピック組織委員会のホームページに日本地図を表示しているが独島を含むことも大きな問題だ。

大韓民国の固有の領土である独島領有権を明確に侵害した行為なのである。過去 2018 年の平昌冬季オリンピック時コリアの統一旗に独島を表記しようとしたら IOC がブレーキをかけた。韓半島旗に独島を含んでいることは政治的行為だという理由で IOC が独島を削除するよう韓国側に勧告した IOC の指摘を受け入れ韓半島旗から独島を消した。

まだ世界はコロナパンデミック危機から抜け出せずにいる。ところが日本の国家的自尊心と、一部政治家の我執のため東京オリンピックを強行すれば、遠い未来の歴史はどのように記録するのか。緊急事態が宣言されてワクチン接種がウイルスの拡散速度に追いつかない状況なのに IOC と日本政府はお互いに責任を回避している。

何よりも東京オリンピックは日本国民の支持を受けていない。開催しても海外の観客は行くことができないだろう。日本は東京オリンピックを誘致して 20 年の長期不況を克服し、福島原発惨事を乗り越えた「日本復興」の象徴的な行事にしようとした。日本の国家的自尊心、政治的利害関係、IOC の商業性が重なり、オリンピック精神を毀損することになると憂慮する。

トーマスバッハ IOC 委員長が東京オリンピックを強行しようとするのは莫大な TV 放送中継権収入を放棄できないからと思われる。IOC は中継契約を獲得した放送局から天文学的な金額の中継権料を受け取ることになるのでオリンピックを何とか強行しようとしていると批判を受けている。

今でも日本政府と IOC はオリンピック精神に反する東京オリンピック中止を検討してほしい。オリンピックを政治的・商業的に利用してはならない。スポーツの価値を毀損してまでオリンピックを強行するのか。国のために何年も血と汗を流した選手たちには残念申し訳ないが、オリンピックを中止するのが正しいというのが筆者の個人的な立場である。

スポーツの最高の価値は個人の幸福追求だ。どんなメダルも人権より価値は高くない。国威宣揚が選手個人の幸福に先んじることはできない。オリンピック競技より選手たちの安全と生命の保護が先だ。

出典：http://www.koreadaily.com/news/read.asp?art_id=9480738

08 週間スポーツ関連ニュース

トライアスロン崔スクヒョン 1 周忌、加害者の裁判はまだ進行中

https://newsis.com/view/?id=NISX20210625_0001489448&cID=10810&pID=10800

故崔スクヒョン 1 周忌... 「暴行も被害者放置も相変わらず、残念だ」

http://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0002754731

故崔スクヒョン 1 周忌.. 崔ヨンヒ氏「娘が暴力の最後の犠牲者であることを」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210624028800007?input=1195m>

「スポーツクラブ法」スポーツ生態系変化の開始

<https://www.hani.co.kr/arti/opinion/because/1000299.html>

国会教育文化フォーラム「韓国型スポーツクラブの成功策」討論会

http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202106252117003&sec_id=530101&pt=nv

「スポーツ映画祭」という楽しい想像

<https://www.khan.co.kr/opinion/column/article/202106240300025>

学校暴力・人権侵害したら国家代表資格「剥奪」

https://www.ytn.co.kr/_ln/0103_202106231625011419

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com